

2026年3月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社ウィザス 2025年8月13日

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関を目指す



東証スタンダード 証券コード 9696

1. グループ概要
2. 2026年3月期 第1四半期 実績
3. 今後の展望（株主還元・おわりに）
4. APPENDIX

1. **グループ概要**
2. 2026年3月期 第1四半期 実績
3. 今後の展望（株主還元・おわりに）
4. APPENDIX

おかげさまで創業50年を迎えました。

「皆様に、感謝！」

株式会社ウィザスは、創業50年を迎え、2025年4月より第50期目に入ります。

これもひとえに、創業以来支えてくださった顧客である生徒・保護者、お取引先や関係会社の皆さまのご支援・ご協力と

社員・スタッフの尽力のお陰であると心より感謝申し上げます。

当社は「教育（企業活動）は人の幸せに寄与すべき」を第一義とし、

社員・スタッフ・会社が一丸となり、経営理念である

「3つの貢献（顧客への貢献、社員への貢献、社会への貢献）」の実現を目指しております。

第50期を迎え、改めてウィザスグループの原点である、

“創業の想いと100年計画”や“ウィザス理念”の基本に立ち返り、

「経営理念」や「コーポレートビジョン」の実現のために、

ウィザスならではの魅力や提供価値を明確にし、磨き上げ、

「ウィザスらしさ」をブランド化して、これまで以上に顧客や社会から

「共感、愛着、信頼」を得られるよう深化し続けていきたいと考えております。

ウィザスグループとして「社会で活躍できる人づくり」の最善の質を追究し、

独自のユニバーサル共育の構築と推進によって、

多くの人の成長と幸せに寄与し、独自価値を深化させ、

「人創り事業」会社として社会へ貢献してまいります。

これからも引き続き変わらぬご理解とご協力を賜りますよう

何卒よろしくお願い申し上げます。

2025年 4月

代表取締役社長

生駒 富男



会社名	株式会社ウィザス With us Corporation
設立	1976年7月10日
資本金	1,299百万円
代表者	生駒 富男
本社所在地	大阪府中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル
事業内容	通信制高校「第一学院高等学校」、 学習塾「第一ゼミナール」等、日本語学校「I.C.NAGOYA」等、 社会人教育／e-Learning・企業研修等の教育サービスを展開
拠点数	全国249拠点（高校・大学 45、学習塾 189、グローバル 7、その他 8）
従業員数（連結）	1,011名（男：629名 女：382名）※2025年3月末現在
市場	東京証券取引所 スタンダード市場 【証券コード：9696】
発行済み株式数	10,140,000株 ※2025年3月末現在
決算月	3月

経営理念 「3つの貢献」

当社は、社員・スタッフの自己成長支援と短期的な各種の目標達成は当然のこととして、教育分野を中心に、社会の進歩と発展、とりわけ「教育は人の幸せに寄与すべき」を第一義とし、社員・スタッフ・会社が一丸となり、「3つの貢献」の実現を目指すことを明確にするため、理念として設定しています。

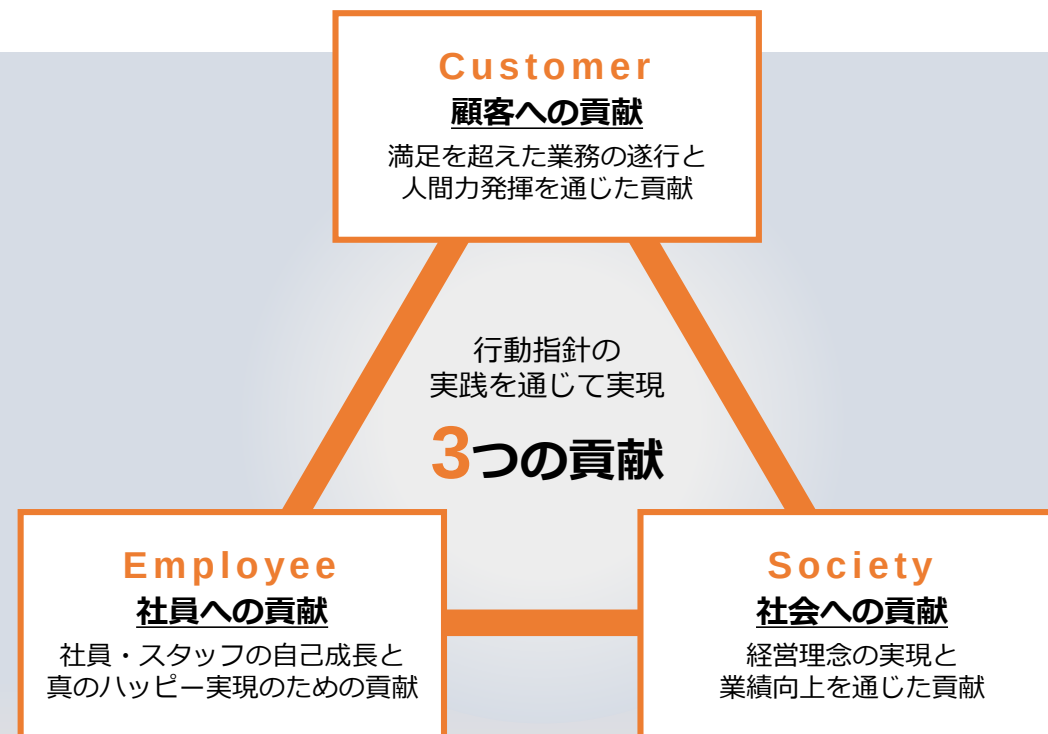
教育理念 「1/1の教育」

全生徒一律ではなく、一人ひとりの生徒と向き合って、一人ひとりの生徒の幸福を願って、一人ひとりの生徒を「育む」ことを重視する意味から「1/1の教育」を理念として掲げています。

コーポレートビジョン

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる
最高の教育機関を目指す

生徒のみならず、社員・スタッフをふくめ、当社に関わるすべての人の成長を支援してまいります。
また、企業活動は全て「他喜（顧客の満足）」で成り立っている、その前提のもと、
全社員・スタッフの「他喜力（自分以外を喜ばせることに喜びを感じる力）」の発揮を通じて「顧客ロイヤルティ経営」を推進していきます。

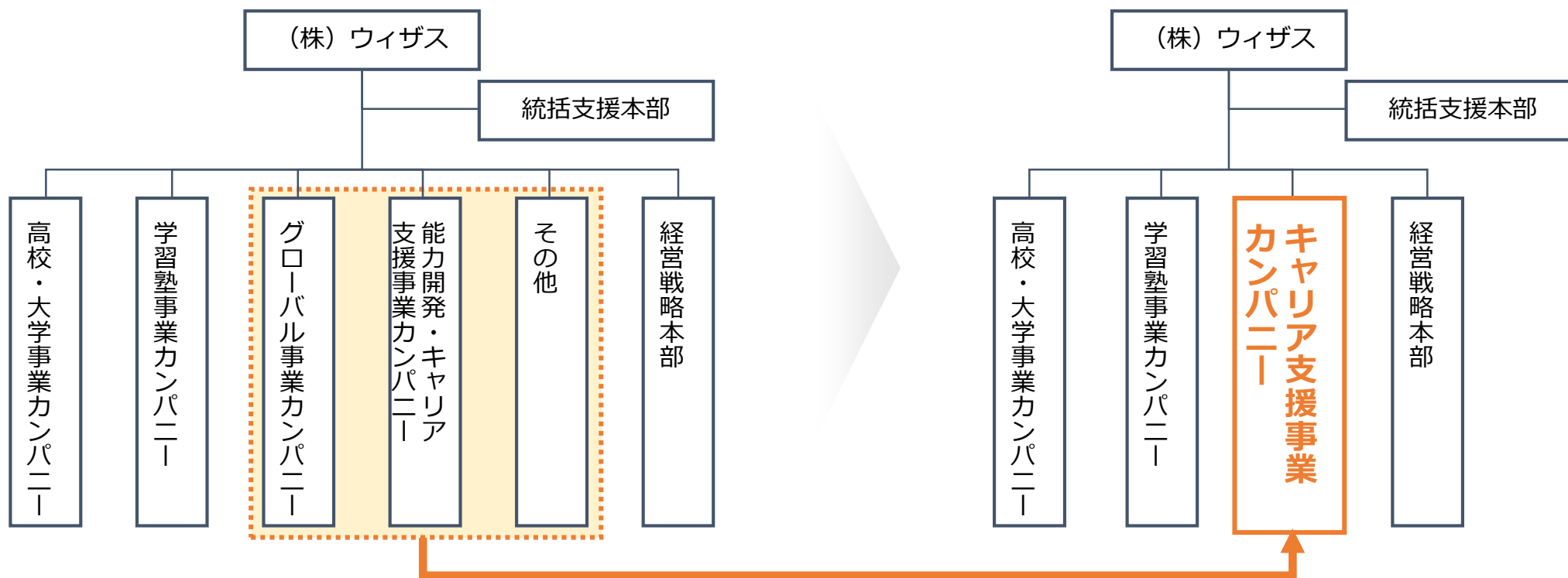


グループ新中期経営計画【第50-52期】（2025/5/13公表）より

グループ経営戦略

セグメント変更の目的

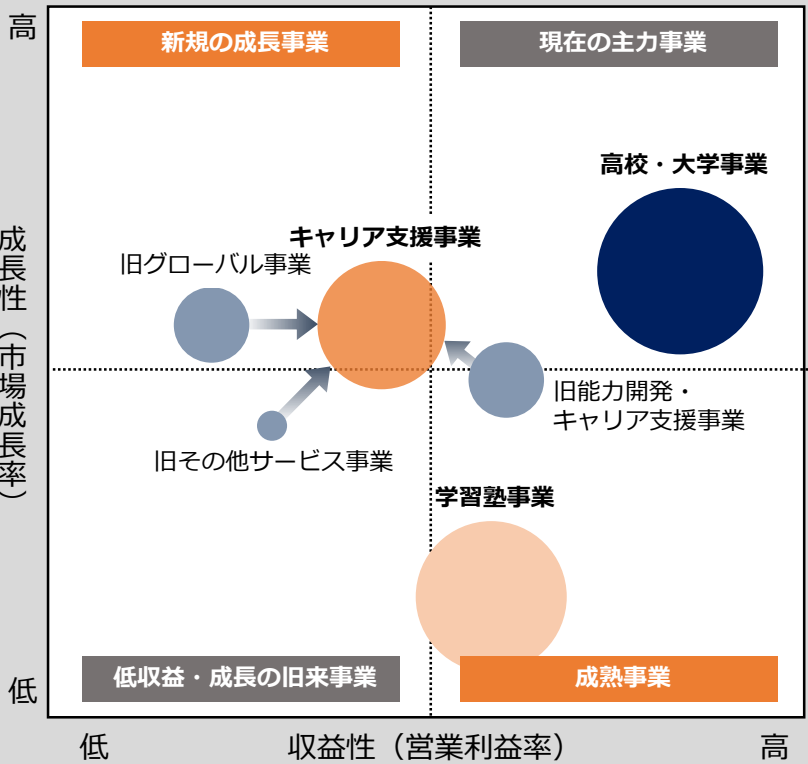
現行グローバル事業カンパニーと能力開発・キャリア支援事業カンパニーの一部事業においてシナジーを最大化できる可能性。
またグローバル事業の事業経営人材の不足による機会損失回避のために両カンパニーを統合し、カンパニーの経営基盤を高める。
また、カンパニー内で事業シナジー連携別の部門別運営も予定。



グループ新中期経営計画【第50-52期】（2025/5/13公表）より

グループ事業戦略

事業ポートフォリオ（サービスポートフォリオ）の最適化とカンパニー制の深化



成熟事業

「学習塾事業カンパニー」の継続的な拠点最適化による収益力向上

- ① 従来の事業本部・個社単位の戦略・戦術展開からサービス形態別ブランド別の戦略・戦術展開へ
※ 集団「第一ゼミナール」 個別指導「ファロス個別指導学院」・「まなび」へ収斂へ
- ② 新規オンライン家庭教師事業の立ち上げ・業容拡大・収益性強化
- ③ 一部個社の事業整理・統合による管理コストの低減へ

展開エリア絞込み・業容転換加速
カンパニー内外事業とのシナジー強化

グループとして拠点収益力向上の為に教室統廃合及び成長ブランドの拠点展開の加速のための投資を行う

成長事業（主力）

1. 「高校・大学事業カンパニー」は中高大10年一貫教育構想の加速

- ① 3ヶ年15か所以上の拠点展開と他法人とのアライアンス強化
- ② 「ネットの大学managaraアライアンス構想（多学部化）」の加速による顧客期待値醸成と集客強化及び付帯サービスの充実による新たな収益源確保

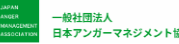
成長事業（新規）

2. 新セグメント「キャリア支援事業カンパニー」設定による新たな成長事業の柱の構築

- ① 主力は国内外社会人層（外国籍含む）への教育【日本語・社員教育・研修等】を通じた人材の高付加価値化と人材紹介事業の強化による収益力強化
- ② カンパニー内の複数の小規模事業は業績推移を基に適宜、事業整理・統合、売却含め検討へ

グループとして成長事業領域には新たな柱構築のために設備投資／M&A・アライアンスへの積極的な投資を行う

グループ概要 事業領域/展開地域

	ブランド名/会社名	主なサービス	地域	拠点数	幼児	小学生	中学生	高校生	大学	社会人等
高校・大学	 第一学院 中等部	ICTを活用した学校外での学習機会提供	全国	45						
	 第一学院高等学校	広域通信制単位制高等学校								
	 第一学院高等学校 専攻科 Daichi Gakuen High School	保育士国家試験の受験資格取得								
	 第一学院オンラインカレッジ	ネットの大学 managara在籍者を対象としたサポート								
	 managara BASE	異年齢が集う学びのコミュニティスペース								
学習塾	 第一ゼミナール	集団：教科学習・進学受験指導	大阪 兵庫 京都 和歌山 広島 福岡 沖縄	191						
	 ファロス個別指導 個別戦略指導会	個別：教科学習・進学受験指導								
	 第一ゼミバシード FIRST ZEMI PASSPORT	中学受験指導								
	 個別指導 まなび	地域密着型個別指導								
	 京大ゼミナール 久保塾	阪神間難関私立中高受験指導								
	 佑学社・大阪教育	地域密着型集団・個別指導								
	 GAZ	難関小学校・中学受験指導（沖縄・福岡）								
	 Blue Dolphins 英語で学ぶ、英語をみがく。	幼児・学童英語								
	 CARPE DIEM	学校教育に関する支援・指導・コンサル、書籍の出版販売								
	 トウコベ マンナビ (MANABI)	現役東大生を中心としたオンライン個別指導								
キャリア支援	 NAGOYA  Genki (I.C.NAGOYA) (GenkiJACS)	外国人留学生等への日本語教育サービス	東京・愛知 京都・福岡 沖縄	8						
	 グローバルウィザス (グローバルウィザス)	日本語講師の養成								
	 KIKKO For Better Communication	通訳・翻訳等のランゲージサービス	BtoB							
	 SRJ	能力開発、英語学習プログラムの企画開発	BtoB、BtoC を中心とした サービス	—						
	 REVIC GLOBAL 株式会社レビックグローバル	企業向けeラーニングの開発・販売								
	 一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会 (アンガーマネジメント)	アンガーマネジメントの講師育成・企業研修								
	 V-Growth	タブレット・インフラ導入支援等								
	 e-life (ウィザスイーライフ)	介護予防デイサービスの運営	大阪	8						

1. グループ概要
- 2. 2026年3月期 第1四半期 実績**
3. 今後の展望（株主還元・おわりに）
4. APPENDIX

連結売上高は前年同期比9.1%増、コスト増加により営業利益・経常利益は減益となりました。

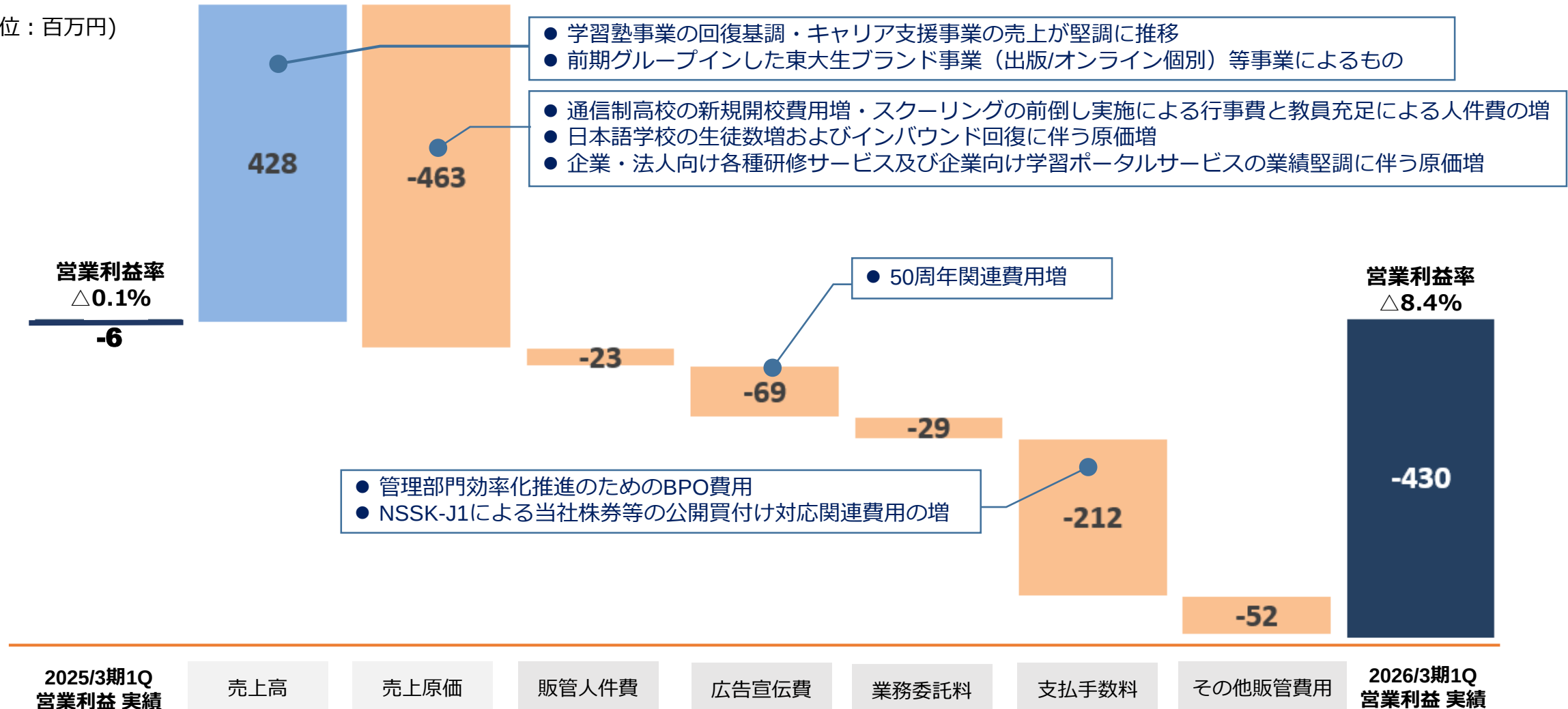
(百万円)	2025年3月期	2026年3月期		
	1Q実績	1Q実績	前年同期比	増減率
売上高	4,702	5,130	428	9.1%
売上総利益	1,378	1,343	△35	-2.6%
売上総利益率	29.3%	26.2%	△3.1%	—
営業利益	△6	△430	△423	—
営業利益率	△0.1%	△8.4%	△8.2%	—
経常利益	4	△381	△386	—
経常利益率	0.1%	△7.4%	△7.5%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△60	△310	△249	—

前年同期比増減：円単位で計算、十万円以下切り捨て 増減率：小数点第二位を四捨五入

営業利益の増減要因

学習塾・キャリア支援事業で増益を達成したものの、高校・大学事業における減収及び人件費・行事費等のコスト増と管理部門のTOB関連コスト増によるものです。

(単位：百万円)



2026期3月期 損益計算書（四半期推移）



(百万円)	24/3期				25/3期				26/3期	前期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1Q対比
売上高	4,538	5,176	5,324	5,649	4,702	5,521	5,640	6,128	5,130	109.1%
売上原価	3,142	3,321	3,414	3,524	3,323	3,538	3,712	3,922	3,787	114.0%
売上総利益	1,396	1,855	1,910	2,124	1,378	1,982	1,928	2,206	1,343	97.5%
販売管理費	1,337	1,242	1,296	1,440	1,385	1,379	1,454	1,598	1,773	128.0%
営業利益	58	612	613	684	△6	603	473	607	△ 430	—
経常利益	74	596	610	670	4	584	471	571	△ 381	—
純利益	△5	368	398	143	△60	375	201	△101	△ 310	—

各種利益率推移

売上総利益率	30.8%	35.8%	35.9%	37.6%	29.3%	35.9%	34.2%	36.0%	26.2%	△3.1%
営業利益率	1.3%	11.8%	11.5%	12.1%	△0.1%	10.9%	8.4%	9.9%	△ 8.4%	△8.2%
経常利益率	1.7%	11.5%	11.5%	11.9%	0.1%	10.6%	8.4%	9.3%	△ 7.4%	△7.6%
純利益率	△0.1%	7.1%	7.5%	2.5%	△1.3%	6.8%	3.6%	△1.7%	△ 6.1%	△4.7%

2026期3月期 貸借対照表（四半期推移）



(百万円)	24/3期				25/3期				26/3期	対前期末 増減
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
流動資産	9,145	8,473	9,989	9,365	7,683	9,277	9,157	11,083	7,520	△3,563
現金及び預金	8,148	7,319	8,440	8,067	6,651	7,896	7,326	9,322	6,074	△3,247
受取手形及び売掛金	306	364	324	356	187	382	438	579	421	△157
授業料等未収入金	29	37	258	129	38	116	541	355	125	△229
固定資産	8,591	8,662	8,901	8,950	9,261	9,512	9,896	9,395	9,197	△197
資産合計	17,737	17,135	18,890	18,315	16,944	18,790	19,053	20,478	16,717	△3,760
流動負債	9,055	8,154	10,208	9,604	8,771	8,999	9,375	11,131	9,346	△1,784
短期借入金	500	500	1,100	100	1,005	1,600	1,600	1,100	0	△1,100
契約負債（前受金）	6,347	5,129	6,252	7,053	5,587	4,316	4,305	6,928	5,419	△1,508
固定負債	2,831	2,734	2,642	2,499	2,448	3,728	3,559	3,363	2,049	△1,314
長期借入金	805	735	650	579	509	1,788	1,619	1,449	110	△1,339
株主資本	5,364	5,744	5,875	6,018	5,505	5,890	5,911	5,809	5,137	△672
利益剰余金	3,247	3,615	3,926	4,069	3,557	3,932	3,953	3,851	3,179	△672

学習塾、キャリア支援事業が増収・増益で推移。高校・大学事業は期首生徒数の減少に伴う減収と人件費・対面行事費増等により減益。管理部門効率化に伴うBPO費用増加と公開買付け対応関連費用増等が影響して連結営業利益は減益となりました。

(百万円)		2025年3月期	2026年3月期		
		1Q実績	1Q実績	前年同期比 増減	増減率
売上高	連結	4,702	5,130	428	9.1%
	高校・大学事業	2,031	1,989	△41	△2.1%
	学習塾事業	1,607	1,811	204	12.7%
	キャリア支援事業	1,063	1,329	265	25.0%
営業利益	連結	△6	△430	△423	—
	高校・大学事業	682	436	△246	△36.1%
	学習塾事業	△69	△16	52	—
	キャリア支援事業	△4	19	24	—
	調整額	△615	△869	△254	—

市場の伸長を背景に当社独自の取組みにより、引き続き一定の支持を得るものの、期中平均生徒数は微減。利益面は生徒指導の質向上に伴う人員増・対面行事費増・新規校投資、教員充足により減益となりました。



【左より】吉祥寺（東京）・名駅（名古屋）・西宮北口（兵庫）キャンパス

主戦略の「中高大 10年間一貫教育」を展開

- 不登校の児童・生徒数は引き続き増加傾向にあり、国の調査でも過去最多34万人余となっております。
- 新潟産業大学と連携し中等部から大学まで最大10年一貫教育体制を確立。

「第一学院 managaraBASE」を全国に新規開校

- 「したいが見つかる・したいができる・できるが見つかる」をコンセプトに“ジブンプロジェクト”を進めていく第一学院 managaraBASE」を3月に吉祥寺、4月に名駅、6月に西宮北口に開設。今後も随時開設予定。

ネットの大学managara 初の卒業式を挙行

- 2021年4月に開校した「ネットの大学managara」は第一期生の卒業式を挙行。東京・日本橋ホールでZoomライブ 配信を併用したハイブリッド形式で開催。

今期managaraでは定員1,200名に対して在籍者約1,400名と 定員充足。



		25/3月期	26/3月期	
		1 Q実績	1 Q実績	増減
売上高	百万円	2,031	1,989	△2.0%
営業利益	百万円	682	436	△36.1%
営業利益率	%	33.6%	21.9%	△11.7
在籍生徒数（期中平均）	人	10,240	10,031	△2.0%

カンパニー全体での組織・運営改革、広報・マーケティング強化・指導連携等や業態転換での拠点最適化等により増収・増益となりました。

カンパニー内連携によるシナジー発揮

- 学習塾事業本部とグループ会社が広報・運営・募集面で連携を強化し、期中平均生徒数は前年同期比11.3%増となりました。

運営力の強化と成長分野へ投資強化

- 「個別指導まなび」・「個別指導まなびプラス」では新規開校の強化をしており、（大阪）狭山・総持寺、（和歌山）宮前、（兵庫）塚本・阪急園田・尼崎若王子・播磨町の7教室を開校しました。

新規オンライン個別指導「トウコベ」の貢献

- 前期にグループインした東大生起業家の株式会社カルペ・ディエムに続き、現役東大生・京大生によるオンライン個別指導「トウコベ」のグループイン。生徒指導・学生講師指導において効果を出しつつあります。



		25/3月期	26/3月期	
		1 Q実績	1 Q実績	増減率
売上高	百万円	1,607	1,811	12.7%
営業利益	百万円	△69	△16	—
営業利益率	%	—	—	—
在籍生徒数（期中平均）	人	16,716	18,606	11.3%

インバウンド需要で人材派遣・日本語学校は堅調。能力開発コンテンツの販売不振、広告事業の出稿数減があったものの、増収・増益となりました。

日本語学校・日本語教師養成

■ 日本語学校において留学生の受け入れが引き続き順調に推移しております。特にGenkiJacsは欧米人向けに日本文化体験・アクティビティを通じた日本語学習ニーズを捉えた収益率の高い短期留学コースを展開し、順調に業績を確保。福岡・東京・京都に続き、沖縄に新規校開校。

ランゲージサービス（通訳派遣・翻訳）

■ 世界情勢の影響とインバウンド需要に伴う派遣案件が増加、堅調に業績推移。

ICT教育ソリューション・能力開発コンテンツ

■ (株)レビックグローバルでは引き続き企業向けLMSおよびeラーニングコンテンツ販売は好調に推移。AI活用やタレントマネジメントシステム連携のプロダクト開発も強化しており、AIシリーズ「AIトレーニング」をローンチ。



2025年6月16日GenkiJACS沖縄校開校！



		25/3月期	26/3月期	
		1 Q実績	1 Q実績	増減率
売上高	百万円	1,063	1,329	25.0%
営業利益	百万円	△4	19	—
営業利益率	%	—	1.5%	—

元気日本語文化学校（GenkiJACS）沖縄校 開校

～沖縄で日本語教育を基軸とした未来志向の人づくり事業を推進～

「ユニバーサル共育」を体現する新たな学びの拠点

- 株式会社グローバルウイザスが運営する元気日本語文化学校（GenkiJACS）は、2025年6月16日、「GenkiJACS沖縄校」を開校しました。

国際性と地域性が交差する沖縄を舞台に、日本語教育に加え、文化体験・地域交流・サステナブル活動を取り入れ、多様な価値観を育む教育を展開します。教室を超えた体験型学習やエコリーダーシップ教育を通じ、語学習得に留まらない「生きた学び」を提供し、多文化共生社会を担う次世代リーダーを育成します。

- 開校に先立つ6月13日には、行政・教育関係者を招いたイベントを開催し、理念やビジョンを共有。今後の連携・協働の可能性について意見交換を行いました。当社は引き続き、地域社会とグローバルな視点を融合し、人づくり事業会社として持続可能な社会の発展に貢献してまいります。



GenkiJACS 沖縄校 スタッフ一同



開校イベントの様子

1. グループ概要
2. 2026年3月期 第1四半期 実績
3. **今後の展望（株主還元・おわりに）**
4. APPENDIX

2026年3月期中間配当及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ（2025年6月9日公表）にて、2026年3月期の配当予想を修正し、中間配当及び期末配当を行わないことを取締役会で決議しました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2025年5月13日公表)	20円00銭	40円00銭	60円00銭
今回修正予想	0円00銭	0円00銭	0円00銭
当期実績			
前期実績 (2025年3月期)	20円00銭	40円00銭	60円00銭

※ 配当予想修正の理由等の詳細につきましては、「2026年3月期中間配当及び期末配当予想の修正（無配）に関するお知らせ（2025年6月9日公表）」をご確認ください。

当社は1976年に学習塾事業を中心として創業いたしました。その後、高校・大学事業へ進出、M&A・アライアンスを通じて能力開発・キャリア支援事業やグローバル事業へ展開し、教育を軸として事業ポートフォリオを大きく変化させてまいりました。

この2026年3月期が創業50年目となります。今後も更なる永続的な事業成長を果たすため、この間外部アドバイザーも含めて経営ボードメンバー中心に2026年3月期を一期目とする「新中期経営計画」の検討を行い、去る5/13に「新中期経営計画【第50-52期】」を開示いたしました。

一方でここ数年の国内外の環境変化・株主構成の変化等を踏まえ、当社グループの企業価値向上の為に、継続して外部アドバイザー及び経営ボードメンバーにてあらゆる選択肢を検討してまいりました。その中で今般6/9開示しましたNSSK-J1による当社株券等の公開買付に対する取締役会としての賛同の意見表明を行い、去る7/23開示のごとくNSSK-J1にいる公開買付が成立し、7/30に決裁いたしました。この後の手続きを踏まえ、当社は9/4に非上場会社への移行を予定しております。最終的に当社は新たなパートナーとしてNSSKグループの傘下に入ることを選択して、更なるウィザスグループの企業価値向上を目指してまいります。

この間当社グループを支えていただきました多くの生徒・学生・保護者等の顧客の皆様、取引先の皆様、そして当社株主・投資家の皆様の多大なるご厚情・ご支援につきましては心より感謝申し上げます。

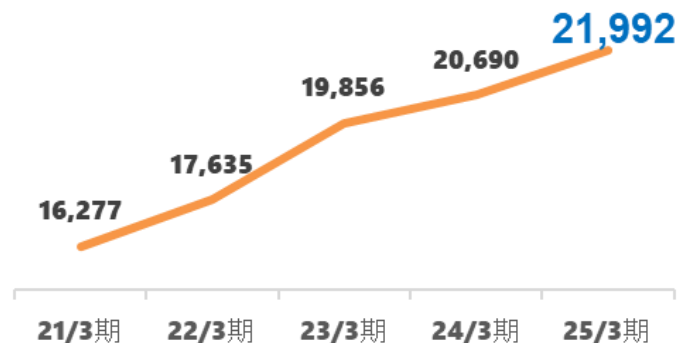
新たなステージでのウィザスグループに是非ご期待いただき、引き続きご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

株式会社ウィザス
代表取締役社長 生駒 富男

1. グループ概要
2. 2026年3月期 第1四半期 実績
3. 今後の展望（株主還元・おわりに）
- 4. APPENDIX**

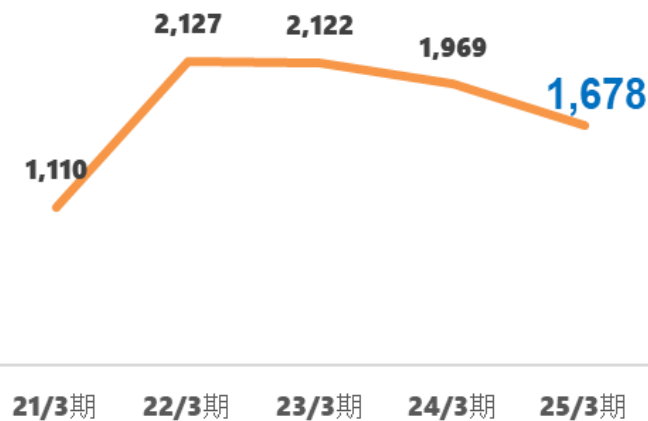
売上高

単位：百万円



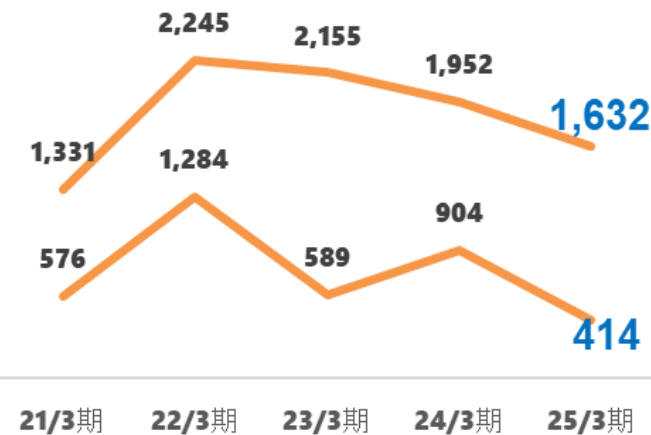
営業利益

単位：百万円



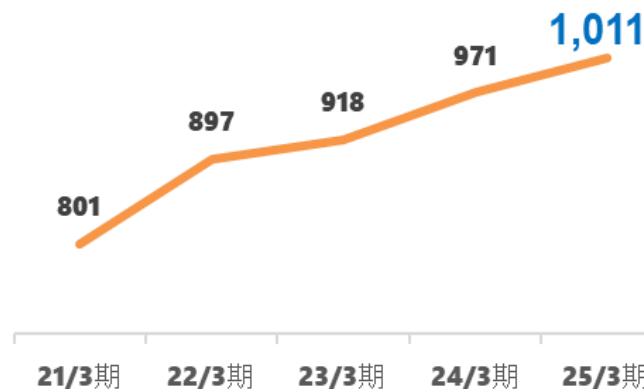
経常利益・当期純利益

単位：百万円



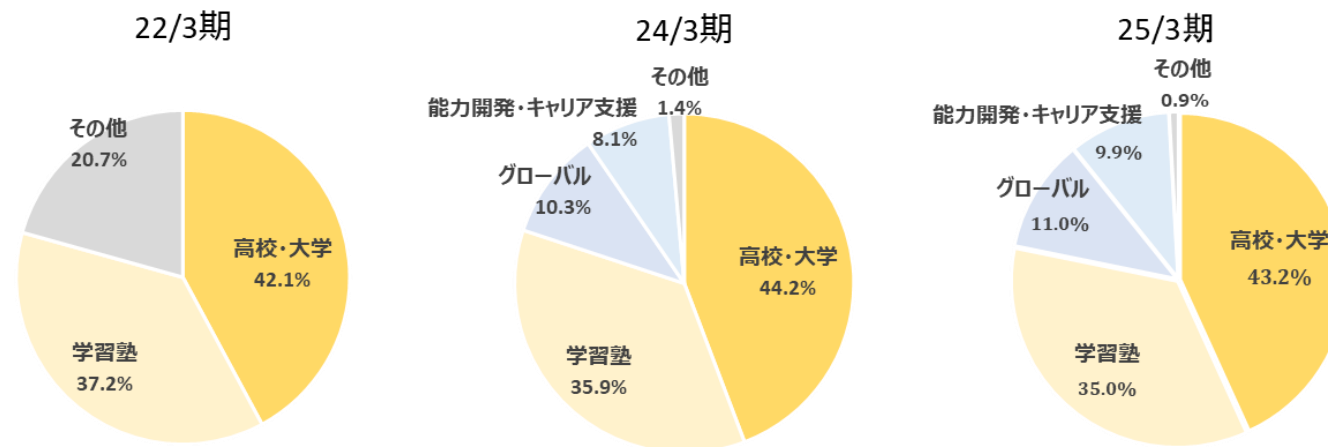
従業員数

単位：人



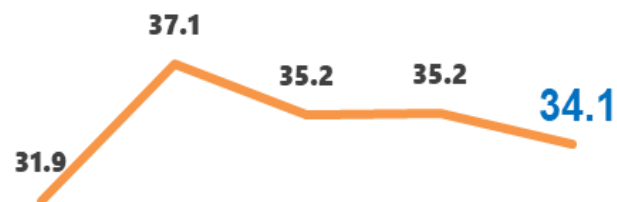
セグメント別 売上高構成比

単位：%



売上総利益率

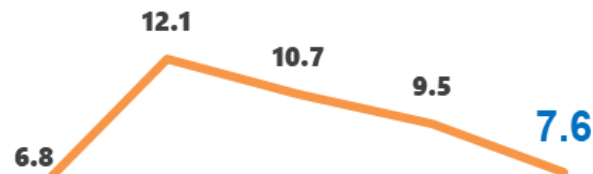
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

営業利益率

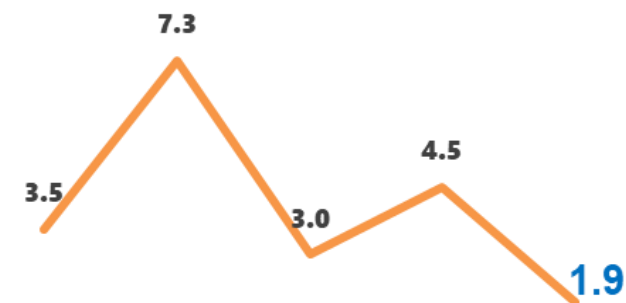
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

当期純利益率

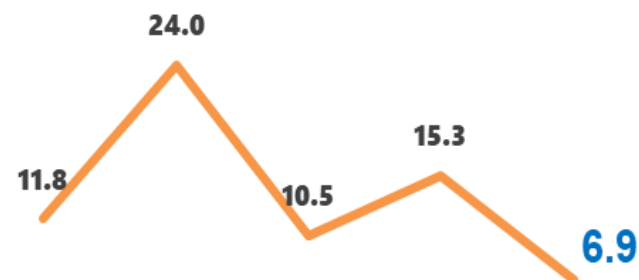
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

ROE

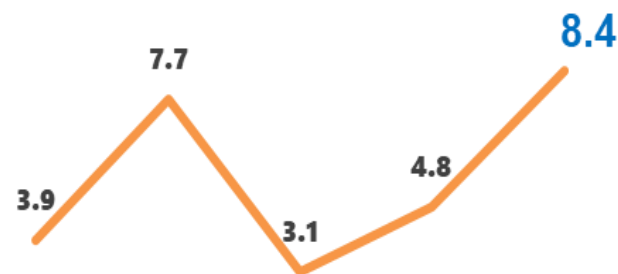
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

ROA

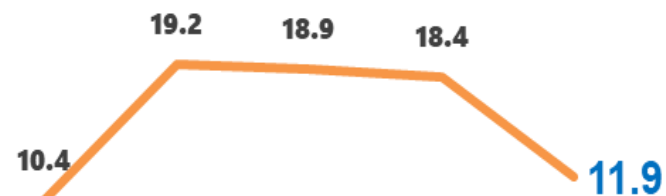
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

ROIC

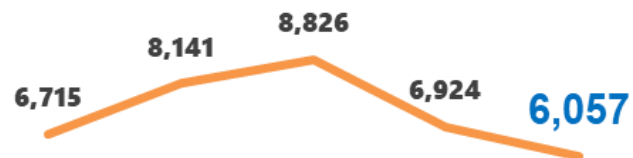
単位：％



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

ネットキャッシュ

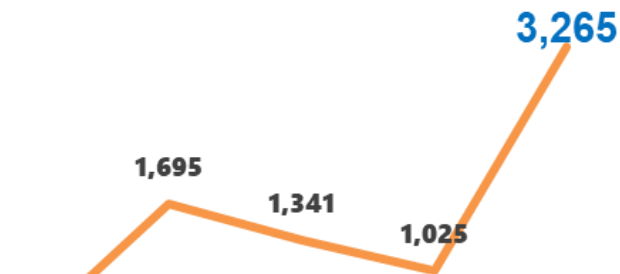
単位：百万円



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

有利子負債

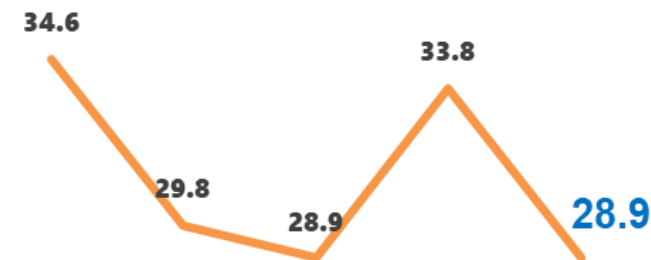
単位：百万円



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

自己資本比率

単位：%



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

時価総額

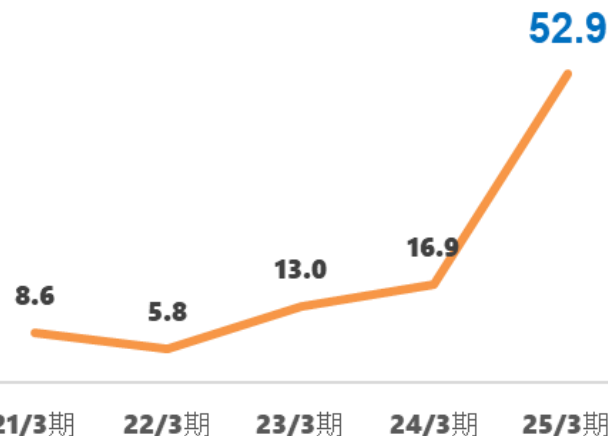
単位：百万円



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

PER

単位：倍



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

PBR

単位：倍



21/3期 22/3期 23/3期 24/3期 25/3期

“社会で活躍できる人づくり”を実現できる最高の教育機関を目指す

<本資料の取り扱いについて>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関するお問い合わせは、以下の宛先までお願い致します。

株式会社ウィザス 経営戦略本部 経営企画・M&A推進部

<MAIL> webmaster-wu@with-us.co.jp